平成２９年１月　第２回議会改革活性化推進特別委員会

平成２９年　１月１１日（水）

○議事日程

（１）議会改革活性化に向けた課題の整理について

（２）その他

○出席委員

委員長	１０番	山　崎　　仁　君	副委員長	５番	芳　賀　芳　夫　君
	１番	岸　　徹　也　君		２番	小　川　ひとみ　君
	３番	加　藤　三　明　君		４番	向　井　孝　一　君
	６番	徳　田　栄　邦　君		７番	日　置　紳　一　君
	９番	川　上　絹　子　君		１１番	上　村　義　雄　君
	(議　長	村　瀬　　廣　　君)			

○欠席委員

８番　村　上　忠　弘　君

○出席事務局職員

議会事務局長	成　田　光　康　君
議会事務局係長	佐　藤　直　樹　君

開議　１４時２０分

◎委員長挨拶

○委員長（山崎　仁君）　皆さんこんにちは。

年明け早々、議会改革活性化推進特別委員会に、ご出席を賜り誠にありがとうございます。昨年１２月、議長より議会の改革と活性化について、調査をするようにということで、設置をされました。第１回委員会で委員長に互選をされたわけですが、実質きょうより調査の内容に入っていくと思います。どうか委員の皆さんの、特段のご配慮をいただきながら、特別委員会がスムーズに運営されますようにお願いをしながら、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎開会の宣言

○委員長（山崎　仁君）　村上君より欠席の届け出があります。

只今の出席委員は１０名で定足数に達しておりますので、第２回議会改革活性化推進特別委員会を開催いたします。

これより議事に入ります。

始めに議題１、会改革活性化に向けた課題の整理についてを議題といたします。

事前に配布しました資料に基づき、まず一つずつ課題の整理を行いたいと思います。

まず始めに資料１、人口及び議員の定数これについては局長に説明をいたさせます。

局長、成田君

○事務局長（成田光康君）　座って説明させて頂きます。

資料の方につきましては、人口につきましては、国勢調査人口、平成２２年国勢調査人口となっております。住基人口につきましては、平成２７年７月１日現在の住基人口となっております。この資料につきましては、全国町村議長会の実態調査の資料となっております。まず始めに、管内の状況についてお知らせしたいと思います。今金町につきましては、ここには記載されておりませんが、国勢調査人口の区分ではＢ区分となっております。Ａが４，９９９人以下、それを超えて５，０００から９，９９９までの人口がＢとなっております。今金町はここに該当しております。それで傾向といたしましては、大体５，０００を目途に定数の改革が減数などを行っている状況が、全道的にも見受けられます。Ｂランクの全道の状況を見ますと、定数では平均が１１．４ほぼ今金町と同じような傾向となっています。全道で５１町村の該当がありますが、構成団体から行くと、一番多いのがやはりＡランク、人口の少ないところが構成としては多くなっております。その次にＢランクとなって、以下順次Ｃランク、Ｄランク、Ｅランクあるんですが、この辺につきましては、割愛させていただきたいと思います。人口及び議員の定数の全道分につきましてはこのような傾向となっております。以上です。

○委員長（山崎　仁君）　只今、人口等について説明をいたしました。これについて、何か質疑があればお受けいたします。よろしいですか。

それでは次の資料の説明に入ります。資料２であります。局長に説明いたさせます。
局長、成田君。

○事務局長（成田光康君）　引き続き説明をさせていただきます。

資料の２なんですが、管内の状況を見ますと、議員報酬から議長までの報酬の中で、議長、副議長の報酬は、今金町が管内の中で一番高くなっております。議員につきましては、江差町が一番高くなっており、一番低いところが奥尻町、奥尻町が議長、副議長、議員含めて一番管内の中では低くなっておりますが、管内的にはそれほど大きな差異はない状況となっています。全道集計から見ますと、先程見ましたＢランクで、平均値を見ますと、Ｂランクの平均値が５１町村で議長が２６万７５７４．５円、副議長が２１万３４６８．６円、議員が１７万８８４３．１円となっております。若干、今金町と比べまして、全道平均がＢランクのところは高めになっているような状況になっております。以上です。

○委員長（山崎　仁君）　只今の説明に、何か質疑があればお受けいたします。よろしいですか。

では次に、資料の３の説明を局長にいたさせます。
局長、成田君。

○事務局長（成田光康君）　それでは資料の３、横型の１枚ものの資料を見ていただきたいと思います。各檜山管内と渡島管内を抜粋いたしまして、常任委員会の構成、定数、議員定数それと住基人口につきましては、直近１１月３０日の住基人口を載せております。議員定数につきましては基本的に２７年７月１日なんですが、福島町が平成２７年９月１日現在、知内町が平成２８年４月７日現在となっておりますので、ご留意願います。各常任委員会の委員数、委員名、定数につきましては記載のとおり、また任期、議長の就任の有無、委員の複数所属の有無につきましては、まるで記載されております。以上です。

○委員長（山崎　仁君）　只今、説明をいたさせました。何か質疑があればお受けをいたします。よろしいですか。只今、議員定数、報酬、常任委員会の設置状況についてを、ご説明を申し上げました。こういう状況の中で、今金町議会がこれから改革を進め活性化をしていくために、どういう方策を取ったらいいかということが、テーマになろうかと思います。前回の平成２４年に設置をされ、２５年に答申を出した特別委員会報告も参考に資料としてお示しをしております。この中で、付託事項から調査の結果まで載っているわけでありますが、これは前回の、前期の調査特別委員会の報告であります。これらも参考にしながら、今後どうあるべきかということを協議いただきたいと、そのように考えております。特別委員会報告については割愛いたします。それぞれご精査をいただきたいと思います。今後の進め方、それからスケジュール的なものも協議をしていかなければならないところでございますが、課題として何を整理していくか、この特別委員会任期中に何を協議していくか、このことからまず決定をしていきたいと思います。まず、先程お示しをした資料、議員定数それから報酬については、報酬審議会の答申を基に尊重するということで前回決定をしております。

それもそのとおりで良いのであればそのように決定をしていただくということでは、議員報酬も課題になろうかと。それから常任委員会の在り方、これも当然、協議になろうかと思います。これらを主に３点は課題として整理するということでよろしいですか。いかがですか。よろしいですか。只今、お話をした３点については課題としてまず整理をしたいと思います。その他に、課題として取り上げたら良いと思われるものを、ご指摘していただきたいと思います。

岸委員。

○１番（岸　徹也君）　いま現状、議会、常任委員会も含めて議会中継というものは役場の庁舎内におかれましては、中継が行われている。１階のロビーですね。そこで中継が行われていて、住民の皆様が足を運んで傍聴していると。そういう風景をよく見られるんですけれども、これは住民の方の声でもあるんですが、やはり興味があっても中々この役場まで来るのが、これは色々理由があるんでしょうけれども、身体的に大変だという理由もありましたけれども、中々大変だというところで、ただそういうお宅でもインターネットなんかは接続されていて、そういうものは良く利用しているんだと。インターネット中継のようなものがあれば本当に助かるのになと。そういった声っていうのもやっぱり多々耳にすることがあります。一つそういう点もテーブルにあげて、是非、この議会活性化の特別委員会で議論していただければなっていうふうに思います。よろしくお願いします。

○委員長（山崎　仁君）　只今、ネット中継ということの提案がありました。他にあれば、ご提案いただきたいと思います。

向井委員。

○４番（向井孝一君）　いま同僚議員の方からネット配信という部分も出されまして、せたな町では光が入っている関係でやっていますよね。ただネットということになると、凄く範囲が広く配信することになってしまうっていう気がするんだけども、その辺っていうのは、色んなこれから審議をしてて、過去にもネット配信というのではなくてライブ中継をしながらっていうことを課題として議論をし、栗山町、長沼町ですか、特に視察に行った経過もあるんですけれども、現況の中では、今金町としてまだ時期尚早なのかなっていう結論についてはいったんですけども、やはりいま言われたような課題についても、これからのことを考えるとやっぱり議論の一つの課題として取り上げて、それを本当にどうするかっていうことも含めて、議論は必要かなと思います。

○委員長（山崎　仁君）　今回は課題を提案していただくことでは、協議には入りませんから、どんどんこういうことも調査するべきだというものは、出していただければよろしいかなと思います。他に課題として調査するべきものがあれば、提案をいただきたいと思います。

向井委員。

○４番（向井孝一君）　今金町議会については、一般質問の数が管内から見ると非常に少ないと。これは全文通告制でやっているせいでもあるんですけども、もう少し皆さ

んで議論をして、例えば全文でなくても良いような感じ、そういう方向と、それから質疑の時間ですが、３０分で町長答弁が長すぎると、非常に質問側の質問が２回から３回で終わってしまうっていう部分もあるので、その辺の部分の議論も必要かなと思いますので、その辺も一つの課題としてあげていただきたいと思います。

○委員長（山崎　仁君）　一般質問の在り方ということで、いまご提案いただきました。他に課題として提案されるもの。いかがですか。平成１９年に議会基本条例を道内で２番目に制定し、それを基に議会運営し、丸１０年が経過をしました。基本条例の中で、いまの一般質問とか行政視察も含めて色んなものの規定をし、今金町独自に運用してきたわけですけども、１０年ひと昔ということでは、色んな情勢も変わってきている場面もあります。基本条例も見直すという、これは議会運営委員会で見直しを規定してありますけれども、この際ですので、基本条例の全てについて、良いものは良い、それから直すべきなものは直すということでは、折角ですのでこの特別委員会で協議をするということで、いかがですか。現状と合わせる。それから将来に向けてこうあるべきだというものを、基本条例の中で再度規定をする。それから、いま言われた一般質問、それからネット配信等についても規定するものであれば、そこの中に謳うということも可能だと思いますけども、基本条例全般について、この特別委員会で見直すという、こういう考え方を持ってよろしいですか。いかがですか。よろしいですか。それではいま何点かご提案があった部分、それと。

岸　委員。

○１番（岸　徹也君）　すみません。もう１点、インターネット配信に関連することなんですけども、ＰＣ、タブレット端末の議会導入、この辺も是非、審議していただければなというふうに思います。紙媒体の削減は期待できるのかなという部分もありますし、そこは一つ検討していただければなと思います。お願いします。

○委員長（山崎　仁君）　ペーパーレスのお話でした。これも以前、議会の中で話題に上ったことがあるようであります。これも含めて調査をしていきたいというふうに考えます。よろしいですか。基本条例全てを見直すことになれば、やはり解説を含めてもう一度見直しをする必要がある。そういう意味ではそれぞれ個々の議員さん、個々の立場で対応していただきながら、また、この特別委員会の中で議論を重ねるということになろうかと思います。ここでは基本条例全部については省略しますので、個々の対応でお願いをしたいと思います。それから新しい取り組みについても、必要かそうでないのか、可能かそうでないのか、これも含めてそれぞれの調査の中で持ち寄りながらここで議論を進めれればというふうに思います。

徳田委員。

○６番（徳田栄邦君）　いま同僚議員からインターネット配信の関係について、検討したらどうかとあったんですけど、議運の中でもこれの調査研究をしていますよね。そういうのと特別委員会とリンクしていくのかどうなのか。その辺のところはどう考えていますか。

○委員長（山崎　仁君）　議運の中でネット配信については、先進事例を調査した経過

は有ります。がしかし、これについては今任期とは別の立場で調査をしております。構成委員も全く変わっております。そののちに議会改選があったわけですから、折角特別委員会が設置されたので必要か否か、できるかどうか含めて、もう一度協議をいただくっていうのは、私は可能だというふうに思いますけど、いかがですか。

徳田委員。

○６番（徳田栄邦君）　それじゃ、今期の議運の中ではこれは検討課題には入っていないということで理解していいですか。

○委員長（山崎　仁君）　そのとおりです。

○６番（徳田栄邦君）　もう１点。それから前回の報告書の中では、政務調査費の問題については棚上げに一応なっている形で、今後検討していくって議題になっているものですから、これらについてはどのように取り計らっていくつもりですか。

○委員長（山崎　仁君）　政務活動費については、それぞれお考えがあろうと思いますけれども、これは前任期中の中で、今金町議会としては採用しないという結論を出したはずです。がしかし、将来については検討するということでは、私はこの場所が検討する場所だというふうに思います。ですから、政務活動費の採用、不採用、その他、考え方について改めてこの場で議論をいただきたいというふうに思います。これも議運の中では協議をしているわけではございません。

徳田委員。

○６番（徳田栄邦君）　分かりました。そういう方向でお願いしたいと思います。更には、議会の活性化を図るためには、これから報告がいつにするのかわかりませんけれども、そんなにだらだらだらだら長い期間をやっていくだけの余裕もないと思うんですね。タイムスケジュール等を考えれば、今年度中に結論を出さなきゃならない問題が多く有るように思われますので、これからどういう回数で進めて行くことになるのかわかりませんけれども、その中に一つ委員会の問題等については、他の町村あたりでも２つの委員会、あるいは１つの委員会で十分やって行っている町村もあるやに聞いておりますので、それらも含めて視察等も検討課題の中に一つ入れていただきたいと思いますけど、いかがですか。

○委員長（山崎　仁君）　その前に徳田委員、今年度中の結論というのはおそらく無理だと思います。

○６番（徳田栄邦君）　２９年度中。

○委員長（山崎　仁君）　今後のタイムスケジュールを考えた時に、今年度という表現となると３月になりますから、そうじゃなくて次の改選期に向けてどうするかということですから、ここで話をして良いのか発言させていただきますけれども、私的には、３１年に改選があります。３０年の３月、１年前までには関係する条例改正等が必要であれば済ませた方が良いと思います。よって２９年の１２月定例会までに結審をするということを、委員長としては考えています。ですから、今年中、年度ではなく、今年中に１年間かけて結論を出したい。このように考えております。それを基に来年の３月定例会で必要な手続きとり、１年間の猶予期間を持って改選期に臨むというこ

とが望ましいと思いますけれども、いかがですか。
○６番（徳田栄邦君）　私は良いと思いますけれども、他の委員は。
○委員長（山崎　仁君）　他の委員さん。そういうスケジュールで、いかがですか。よろしいですか。では目標として今年の１２月、平成２９年１２月を結審の目途としたいというふうに考えます。更に、そこに向けて先進地事例を見ながら、今金の議会改革を進めるというご提案をいただきました。この件に関しても皆さんのご意見をいただきたいと思いますけれども、いかがですか。
向井委員。
○４番（向井孝一君）　私はそのことには賛成です。先程来、それぞれ同僚議員から課題提起されましたけれども、ここでそれぞれの議員の議論をする前にですね、議会基本条例策定１０周年ですので、それを見直すためにも、例えば、道の前の勢旗局長あたりを呼んで勉強会をやって、そのあとから具体的に皆さんで議論するというプロセスを取ってはいかがかなと思いますけど、いかがですか。
○委員長（山崎　仁君）　先進地視察をすることに併せて、前町村議長会事務局長、勢旗氏の講演をいただくという、お話もいただきました。他にこれに関するご意見が有ればお伺いしたいと思います。いかがですか。それでは視察も視野に入れる。それから講演をいただくということも併せて、これから考えていくということでよろしいですか。それぞれお考えは有ろうかと思いますけれども、視察にしても、講演にしても、費用の問題が発生します。この費用がどうなるかということは、はやり予算の中でしっかり位置付けをしていただきながら、議会として対応していくことを考えれば、やはり定例会前に予算要求しながらしっかり対応していく。先程言いました、１２月答申にあわせたスケジュールを組んで行かなければならない。となると、それぞれの議員の皆さんから視察先、それから講師の氏名、講演の内容等について、どんどんご提案いただきたいというふうに思うわけです。いまの時点で議論するとしても、あまりにも始まったばっかりですから、議論の中身にはすぐ入れないと思うんですけれども、それぞれお考えがあれば視察先やら、こういう考えで進めて行ったら良いってことがあれば、ご提案いただきたいと思いますけど、いかがですか。いま言う、勢旗氏の講演もそうですけれども、徳田委員、視察等があれば。
徳田委員。
○６番（徳田栄邦君）　委員長の言っていた定例会前って何定を指して言っているんですか。
○委員長（山崎　仁君）　私が言っているのは、それぞれの定例会前。要するに臨時会等で提案することにはならない。ですから３月定例会、もし３月定例会を考えるのであればどうしたら良いのか。それから６月定例会で提案するのであればいつ位の視察時期のなるのか。それぞれ色々あると思います。９月定例会に向けて予算要求をしながら視察ということになると、おそらく執行すると１０月、１１月になると。であれば、結審に向けてもう本格的な議論が活発な時期だと思いますから、できればその前に考えた方が良いのかなという気がするわけですよ。ですから、私の言った定例会と

いうのは、臨時会を開いて議会が視察に行く予算を協議するというのではなく、しっかり定例会前にそういうことは３月でも６月でも結構です。対応しましょうということでありますから。例えば時期的に、いつでも良いよというこちあれば、その時期にあわせた予算要求をしながらということになると思うんですけど。例えば、６月に視察に行きたい、勉強したいのであれば、じゃあ、いつだとなれば、３月の定例会になるわけですよ。３月の定例会は、もう予算ができ上がっているんですよ。だったらどうするんだっていう話がこれから出てくると思うんですよ。ですから、委員全員で視察により勉強をしたいなというのであれば、そういうお話を出していただきながら、取りまとめをし、議長から予算要求を提案していただく流れになると思うので、この場でもし視察先があるので、あればどんどん出していただいて結構だと思います。もしそうではないのであれば、また近々、特別委員会を招集いたしますから、そこまでに視察先なり考え方を出していただくということも可能だと思います。これは、皆さんで決めていただければ。

休憩：１４：３１
開議：１４：３７

○委員長（山崎　仁君）　休憩を打ち切り開議いたします。

それぞれご意見はあるようであります。まず自らが勉強をしながら視察等についても、テーマを持って視察先を決定しながら進める。あくまでも定例会で予算をお願いしながら議会としてはそれを実行していくという、この原点は変えないということ。これでよろしいですね。それでは必要に応じて資料要求やら、いま言う、今後のスケジュールについて話し合う場を持っていく。これも了解ですね。そのように進めて行きたいと思います。まだ追加をするとなれば、通年議会の在り方がどうかというのは先進事例としては北海道では白老町ですか、もう既にやっていますけども、できればそういうのも調査をするということも含めておいてよろしいですか。いま様々な課題を出していただきました。なにせ、２回目の特別委員会ということでは、まだまだこれから課題が出てくるかと思います。是非、都度、課題があれば提案をしていただきながら、対応していきたいというふうに考えますので、きょうのところは、この課題の整理ということでよろしいですか。それでは、いままで出していただいた課題、それから、今後のタイムスケジュール、それと講演、視察これらも定例会へ予算要求しながら進めて行くという。基本的な特別委員会の考え方をまとめてよろしいですか。それでは、きょう提案いただきたい部分はこの辺で終わりです。ですから、その他、何かあったら、次の特別委員会までの間にまとめておいていただきたいと。この進めでよろしいですか。以上のことを、決定いただきました。これらを実行に移すために、次の特別委員会の開催日を決定したいと思いますが、いかがですか。資料要求があれば、都度、事務局の方にお願いをしたいと思いますし、課題となるものがあれば、先程から言っているように、ご自分でまとめておいて、委員会で発言をしていただきた

い。その為に次の委員会がいつ、開催が必要か。次はもう少し中身に入りたいと思いますので、それぞれ資料等を基にご自分で精査をしていただきたい。

○６番（徳田栄邦君）　委員長に一任。

○委員長（山崎　仁君）　良いですか。

３月定例会等の日程もありますから、その前に特別委員会を開催したいと思います。よって、２月の上旬から中旬にかけて、あとは正副、事務局にお任せいただきたいと思います。よろしいですか。では、次回開催については２月の上旬から中旬にかけてご案内申し上げますので、ご出席をいただきたいと思います。それから、資料について、もし必要なものがあればそれまでに事務局に申し出をしていただきながら集めるように。よろしいですか。

ではなければ、その他、その他よろしいですか。閉会に進んでよろしいですか。

◎閉会の宣言

○委員長（山崎　仁君）　それでは閉会をしたいと思います。

第２回ということでは、まだまだ資料の考え方をまとめる部分が、これから多くありそうであります。是非、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

閉会　１４時４３分

署名委員

平成２９年　１月１１日

委　員　長